

平成18年度 病害虫発生予察情報

発生予報第9号（9月後半～10月前半）

平成18年9月19日
島 根 県

予報の概要

区分	農作物名	病害虫名	予想発生量
普通作物 果樹	ダイズ	ハスモンヨトウ	少ない～やや少ない
	カキ	炭疽病 うどんこ病 カメムシ類	平年並～やや多い 平年並～やや多い やや多い
野菜	キャベツ	黒腐病	平年並～やや多い
		菌核病	平年並～やや多い
	アブラナ科野菜	アブラムシ類	やや少ない～平年並
		コナガ アオムシ ハスモンヨトウ	やや少ない～平年並 少ない～やや少ない 少ない～やや少ない

中国地方1か月予報（9月16日～10月15日・広島地方气象台9月15日発表）
向こう1か月の気温は平年並みか高く、降水量は平年並みか多く、日照時間は平年並みか少ない見込みです。

A. 普通作物

1) ダイズ

(1) ハスモンヨトウ

予報内容

発生地方 県下全域
発生量 少ない～やや少ない

予報の根拠

- ①フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫誘殺累積数は、出雲市で平年比72.8%、益田市で平年比44.5%と少ない。
- ②9月中旬の巡回調査での本種幼虫による1a当たり白変カ所数は0.4カ所（平年1.8カ所）で少ない。
- ③向こう1か月の気温は平年並みか高く、降水量は平年並みか多いと予想されており、発生にやや助長的である。

B. 果樹

1) カキ

(1) 炭疽病

予報内容

発生地方 県下カキ（富有など）栽培地帯
発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

- ①9月中旬現在、発生量はほぼ平年並みである。
- ②向こう1か月の気温は平年並みか高く、降水量は平年並みか多いと予想されており本病の発生にやや助長的である。

(2) うどんこ病

予報内容

発生地方 県下カキ栽培地帯
発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

- ①9月中旬現在、発生量は平年並みである。
- ②向こう1か月の気象は本病の発生にやや助長的である。

(3) カメムシ類

予報内容

発生地方 県下カキ栽培地帯
発生量 やや多い

予報の根拠

- ①予察灯（出雲市）でのカメムシ類の誘殺数は平年並みである。
- ②9月中旬の巡回調査での被害果率は9.3%（平年5.5%）とやや多い。
- ③向こう1か月の気象は本種の発生を特に抑制する要因とはならない。

C. 野菜

1) キャベツ

(1) 黒腐病

予報内容

発生地方 県下全域
発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

- ①向こう1か月の気温は平年並みか高く、降水量は平年並みか多いと予想されており、本病の発生にやや助長的である。

(2) 菌核病

予報内容

発生地方 県下全域
発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

- ①向こう1か月の気象は、本病の発生にやや助長的である。

2) アブラナ科野菜

(1) アブラムシ類

予報内容

発生地方 県下全域
発生量 やや少ない～平年並

予報の根拠

- ①9月中旬までの黄色水盤への有翅虫飛来量は平年に比べてやや少ない。
- ②9月中旬現在、巡回調査による寄生株率は4.3%（平年9.1%）で平年に比べてやや少ない。
- ③向こう1か月の気温は平年並みか高く、降水量は平年並みか多いと予想されており、発生にやや助長的である。

(2) コナガ

予報内容

発生地方 県下全域
発生量 やや少ない～平年並

予報の根拠

- ①9月中旬現在、巡回調査による寄生株率は1.4%（平年7.7%）で平年に比べてやや少ない。
- ②向こう1か月の気象は本種の発生にやや助長的である。

(3) アオムシ

予報内容

発生地方 県下全域
発生量 少ない～やや少ない

予報の根拠

- ①9月中旬現在、巡回調査による寄生株率は0%（平年4.1%）で平年に比べて少ない。
- ②向こう1か月の気象は本種の発生にやや助長的である。

(4) ハスモンヨトウ

予報内容

発生地方 県下全域
発生量 少ない～やや少ない

予報の根拠

- ①フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫誘殺累積数は、出雲市で平年比72.8%、益田市で平年比44.5%と少ない。
- ②9月中旬の巡回調査での寄生株率は4.3%（平年8.1%）で少ない。
- ③向こう1か月の気象は本種の発生にやや助長的である。